



挑 戦 す る 勇 気

生徒のみなさんへ



● 「成功」の反対は「失敗」？ ●

2学期がスタートしました。今年の夏休みは、久しぶりにコロナによる休校等のない休みに戻り、部活動などさまざまな大会やコンクールが行われ、じっくり取組に向き合える充実した期間となりました。地域に目を向けてみると、夏祭りが4年ぶりに復活するなど、楽しい思い出をつくることのできた人も多かったのではないのでしょうか。

一方、今でもコロナやインフルエンザの流行が続いていたり、連日の猛暑のため、熱中症予防に細心の注意を払ったりするなど、体調管理のために気を引き締めなければならない状況もありますので、皆で気を付けて過ごしていきましょう。

さて、これからの学校生活に目を向けると、新しい役割(係)についたり、班をついたりしながら、今から始まる体育大会や学年行事、授業などに取り組んでいくことになります。慣れない係になったり、新しいメンバーをつくり出すことから、「ちょっと嫌だな」「面倒(めんどう)だな」と感じることもあるでしょうが、その「面倒と感じる体験・経験」こそが、あなたを成長させるチャンスになります。新たなことに挑戦することに大きな意味があるのです。

しかし、誰もが成功することを目指して挑戦しますが、慣れないことに失敗することも多いでしょう。でも、失敗するからこそ、成功へたどり着く道・方法が見えてきます。「失敗は成功のもと」という言葉があるように、

「成功」の反対は「失敗」ではなく、「何もしないこと」なのです。

だから、皆さんには、面倒を感じる事を避けて「しない、やらない」道を選ぶのではなく、「失敗してもいいから、とにかくやってみよう」という、前向きに挑戦する勇気をもってほしいと思います。

『人生は敗者復活』この言葉は、今年の夏、甲子園球場で行われた全国高校野球選抜選手権大会の決勝戦において、惜しくも敗れた仙台育英高校の須江監督の言葉です。「失敗(敗者)」を経験した全ての人を勇気づける素晴らしい言葉だと思います。人生は失敗することの連続です。その失敗を乗り越えようと努力した先にある未来の自分を思い描くと、これから挑戦しようとする勇気が湧いてきます。

そこで、一つお願いがあります。周りの誰かが、勇気をもって新しいことに挑戦しようとする姿があったら、「無理」「○○らしくない」「キャラが違う」などと声をかけないこと。努力して失敗する姿があっても、「おいしい!」「ドンマイ」「きっと次は大丈夫」と支える言葉をかけてみてください。つまり、クラスの一人一人が思いやりと優しい心をもつと、そのクラスは皆がどんどん新しいことに挑戦できる、前向きな空気に包まれた活気のあふれるクラスになります。そんな班、クラス、学年、学校に湯川中学校をつかっていきましょう。「誰かがする」のではなく、あなたの力が必要です。

● 絆と感動 ●

このタイミングで、1学期の始業式で2・3年生の皆さんへ伝えたメッセージを、もう一度伝えたいと思います。皆さんに期待する湯川中生の姿です。1年生にも当てはまることが多いので、1年生もしっかり受け止めてください。

本年度の目標は、**絆と感動**です。「つながれない」という考えから、「新しいつながり方を生み出そう! 編み出そう!」という考え方に。「感動できない」という考えから、「どうすれば皆が感動できる場になるか知恵を出し合い、つくってみよう!」と考えていきましょう。そして、次のような先輩になってほしいということを伝えました。

「行事に燃え、後輩を導く、たくましい先輩」「思いやりのある、後輩が憧れる先輩」を目指す!

ハードルが高いと感じるかもしれませんが大丈夫。このような先輩になるために、2・3年生は、「今よりちょっと一つ上」を目指してみよう。具体的には、次の3つです。

①「当たり前のこと」を毎日積み重ねる

凡事徹底。当たり前のことを、こつこつ積み重ねると、やがて「特別」になります。天才と呼ばれる人は、雲の上の人ではなく、当たり前を続けた人です。だから、日頃が大事。人には必ず、ここぞという勝負の時がやってきます。そ



んな勝負の時のために、いつも今、この瞬間を大切にしよう。「こつこつ」が「勝つコツ」です。

② 「こつこつ」の具体的な目標を持つ

授業では〇〇、家庭学習では〇〇、学級では〇〇、部活動では〇〇・・・と、勉強、部活動、友だちとの関係など、それぞれ少し一つ上を目指す具体的な目標を設定しよう。

「行事に燃え、後輩を導く」・・・リーダーシップを出すことに挑戦出来る人はやってみる、人を引っ張るのが苦手だという人は自分だけでも懸命に取り組む、仲間を応援する、仲間を励ます、協力して取り組む・・・それを行えば大丈夫。きっと、みんなは、そんなあなたの背中を見ている。

「思いやりのある」・・・日頃の学校生活の中には、あなたの思いやりを発揮する場面が盛りだくさん。学級のごみをひろう、友だちの係を手伝う、元気のない友だちに話しかけてみる、朝、教室に入るときに明るく「おはよう」と言ってみる、など、人から良く見られるためではなく、自然とできれば、あなたはすでに皆から信頼される存在・憧れの存在になっています。まわりの人はきちんとあなたの思いやりを感じています。

③ 行動を考動へ 指示されなくても動く考動力をつける

そのために、「今、どのように動けばベストか」と周りの状況をいろいろな角度からみて、動くことを目指そう。「指示待ち行動」から自分で考え動く「考動」へ。そのために感度の良いアンテナをもつことも大切です。

君たちの素晴らしい力を信じています。きっと良い変化が生まれます。皆さんと先生たちが、心を一つにして新たな「絆と感動」を求めて、勇気をもって挑戦していきましょう！

● 湯川中生の行動が光ったボランティア活動 ●

7月29日は湯川小学校において「夏祭り in ゆがわ」が開催されました。前日の会場準備にはバレー部の皆さん、翌日の片付けには一般公募で集まった生徒の皆さんが、ボランティアとして会場づくり・撤去を手伝いました。たくさんの椅子や机を運んで設置したり(片付けたり)、きれいに拭きあげたりと、大変な作業です。猛暑の中にも関わらず生徒の皆さんは嫌な顔ひとつせず、一生懸命頑張ってくれました。働いてくれているのに、「ありがとうございます!」の声が響いたり、率先して仕事を探したりと、すがすがしい行動が光りましたね。地域の方々から「本当に気持ちのいい生徒さんたちですね」とたくさんお褒めの言葉をいただいたことは、皆さんが立派に地域社会に貢献できた証です。



放送部は祭りの司会を任せられ、堂々と進行を行うことができました。合唱部は見事な合唱を披露し、会場に素晴らしい歌声を響かせました。二つのダンスチームはそれぞれ、地域の方々へ元気いっぱいダンスを披露し、祭りを大いに盛り上げました。

湯川中今年の目標



絆と感動

これまでの3年間は、人と人がつながりにくく、共に活動したり、感動したりする場が生まれづらい学校生活でした。ですから・・・

絆のつくり方を考えよう

新しいつながり方を生み出そう！

感動が生まれる場をつくろう

行事・授業・部活動・・・どうすれば皆が感動できる場になるか考え、つくってみよう！